

## 第一章 「海月と花火」

女1 ソフトボールの元日本代表

女2 主婦 夫を津波で亡くしている

二人は高校時代 ソフトボールでバッテリーを組んでいた

東日本大震災から7年目 夏

仙台の うみの杜水族館 海月の水槽の前の椅子

女2が座っている 女1が隣に座る

1P

1 / こんにちは

2 / こんにちは

1 / あれつ、まだ30分前でしょ

2 / 約束?

1 / 早過ぎない

2 / ゆっくりしようと思つてね

1 / ねえ、何で水族館?

2 / 待ち合わせ?

1 / そう

2 / よく来るんだ

1 / 答えになつてない

2 / カフェの方がよかつた

1 / まあ・・久しぶり

2 / 何年ぶり?

1 / 25年くらい

2 / そんな訳ないでしょ

1 / そうだよ

2 / 7年ぶりくらい

1 / そうじやなくて水族館に来たの・・小学校の遠足以来

2 / かな

1 / なんだっけ・・魚が名誉町民になつてて

2 / マンボウでしょ、

1 / そう、マンボウ、マンボウ・・ウー マンボウ

2 / あのね・・松島水族館ね

1 / ここ、うみの杜水族館つて、いつできたの?

2 / 震災後かな・松島水族館が駄目になつて・・ここに新しくなつて

1 / 津波来たの?松島水族館

2 / 津波じやなく地震でやられたみたい

(間)

2 / 憶えてる?

1 / なに?

2 / ♪「よいよい松島水族館」

1 / はい?

2／松島水族館の歌

1／そんなのあつたんだ

2／忘れた？

1／忘れた・・？

2／ここにあるの

1／なに？

2／うみの杜水族館の歌

1／知らないよ

2 P

2／・・・・海月（前見て）

1／海月ね

2／好きなの

1／私も

2／あなたも？

1／冷やし中華は、海月がなきや

2／食べるのじやなく、生きてる海月

1／大嫌い、海水浴で刺された事あるんだ

2／・・ふわふわ、ゆらゆら、こんな風に生きて行きたいね

1／いや、私は地に足がついてなきや・・・

(間)

1／良夫・・残念だつたね

2 / なにそれ？

1 / お悔やみ

2 / 人の旦那呼び捨て？

1 / 良夫さん・・こんな時なんて言えばいいの

2 / ご愁傷様

1 / 良夫さん・・ご愁傷様でした

2 / どうもご丁寧に

1 / 何で呼び出したの

2 / 何で黙つてたの・・カナダ行くのも帰つてきたのも

1 / 半年前か、父が倒れちゃつてね

2 / それで帰つてきたんだ

1 / 先月、亡くなつちやつた

2 / ・・・ご愁傷様でした

1 / ご丁寧にどうも・知らせてよ

(間)

1 / 色々忙しくて・・何で呼び出したの？

2 / 渡したい物あつて

1 / 誕生日は九月だよ

2 / 知つてる、でも、プレゼントじゃない

1 / 知つてる。あんた1回もくれなかつたから

2 / そだつけ？

1 / ソフト部で誕生日にプレゼントくれなかつたの、あんただけ

- 2 / 覚えてんだ
- 1 / バツテリー組んでたのに
- 2 / 私はキヤツチャードから受け取るの専門
- 1 / 関係ないでしょ
- 2 / (わざとらしく) はいプレゼント
- 1 / ありがとう (わざとらしく) なにかな~開けてもいい?
- 2 / どうぞ
- 1 / 写真?
- 2 / うちの旦那とふたりで一緒に写ってる、しかも腕組んで
- 1 / なんで・・あつ・・あの誤解しないで
- 2 / 浮気してた?
- 1 / してないしてない
- 2 / うそ
- 1 / 誤解だつて誤解、誤解、誤解、誤解だよ
- 2 / 誤解も六階もない
- 1 / 説明させて
- 2 / 弁明?
- 1 / 説明
- 2 / 聞こうじやないの
- 1 / だから・・これ花火大会?
- 2 / 二人で行つたんだ
- 1 / ・・思い出した、思い出した?

2 / なに？

1 / 同窓会・・港祭りで皆集まつて・・ほら・・帰りに皆で花火見に行つて・・  
2 / 腕を組んで

1 / ごめん

2 / 認めるの？

1 / 何を？

2 / 浮気？

1 / じゃなくて

2 / 不倫？

1 / じゃなくて

2 / 何で謝るの

1 / だから誤解を与えたから

2 / (笑う)

1 / 何笑つてんの

2 / 知つてるよ、7年前の同窓会の後、皆で行つたんでしょ？ (笑う)

1 / そう！そうだよ震災の前の年だ。

2 / 誤解だつて誤解、誤解、誤解、誤解だよ・・ははは。五回言つてる

1 / あんたこそ誤解も六階もないって昭和か？

2 / 私だつて同窓会出たでしょ、花火は行かなかつたけど、人ごみ嫌いだからね

1 / そようそ、ふざけて、冗談だよ、冗談！

2 / キスもしてたけど

1 / キス？

2／証拠写真あるんだ

1／良夫と・・良夫さんと?

2／違うよ

1／誰と?

2／顧問の佐伯先生

1／何処に?

2／えつ?

1／何処にキスしてた?

2／ほつぺ・・証拠写真見る?

1／遠慮する（腕組んだ写真見て）これ何処にあつたの?

2／：本の間に挟まつてた

1／本

2／海の中でね良夫の鞄が見つかって

1／今ごろ

2／奥さんが行方不明になつた方がね・・自分で探すつて・潛水夫の資格とつて

1／見つかつたの奥さん?

2／まだみたい・・それで色々・・遺品とか見つけてくれんるんだ

で・・鞄の中の本に挟まつていた

1／本?

2／「舞踏会」つて本

1／芥川でしょ

2／えつ?

1／「私は花火の事を考えていましたのです。

我々の生(ヴィ)のやうな花火の事を。」

2／何で？

1／こう見えても文学少女だから

2／少女つて

1／だつたから・・・良夫さんが言つたんだよ

2／「生(ヴィ)のやうな花火」つて？

1／そう

2／花火大会の夜・・腕組んで言つたの？

1／しつこい・・

2／私も聞いた事がある Vie は・・フランス語で人生 花火のやうな  
儂い人生つて意味だよね・

1／・花火のような人生ならね 思いつきり生きてやろうつて  
良夫さんがね・・背中を押してくれたんだ思つてね

・・それでカナダ行つたんだ

2／思いつきり生きてたんじやない・・実業団入つて オリンピックでは  
メダルとつて・・・憧れていたんだから

1／こつちこそ憧れていたよ・・・普通に結婚して・子供を育てて  
平凡なだけでしょ

1／オリンピック終わつた後ね・・現役引退してコーチになつて

・・何にもない自分に気づいたんだよ

2／えつ？

1／旦那も・・子供も・・ そんな時に良夫・・さんに言われて

2／「生(ヴィ)のやうな花火」つて?

1／何か新しい事しなきやつて・・鈴木先輩いたでしょ

2／ショート守つてた?

1／カナダでね物産店やつてるの「オーロラ」つて店

・・前から手伝つて言われてて

2／英語話せるの?

1／フランス語。モントリオールはフランス語だよ ボンジュール

マダム?

2／マドモアゼル!

1／日本人はね若く見られるんだから

2／そりなんだ

1／大学生からも声かけられたよナンパ、ナンパ

2／ボンジュール マダムつて

1／マドモアゼル

2／恋したの?

1／仕事が忙しくてね

2／なんじやそりや

1／来週また戻るんだ

2／カナダに

1／うん

3P

2 / 海月（前見て）

1 / 海月

2 / 海月つてね英語でゼリーフィッシュって言うんだよ

1 / ゼリーの魚

(間)

2 / 良夫も見ているのかな

1 / はい？

2 / 海の中で

1 / 海月

2 / 良夫いなくなつてね・何にも無くなつちやつた

1 / 息子きんいるでしょ

2 / いるけどね

1 / 可愛いでしょ

2 / 少年野球はじめた

1 / もしかして、キヤツチャーやつてるの？

2 / そう

1 / あれね

2 / 何？

1 / 良く言うでしょ・・カエルの子は

2 / オタマジヤクシ

1 / カエル

- 2 / 良夫もキツチャーやつてたんだよ  
1 / 中学の時？ソフトやつてたのは知つてたけど  
2 / 高校は男子ソフトボール部無かつたから  
1 / だから女子ソフトのマネージャーになつたんだ  
(間)
- 2 / 海月（前見て）  
1 / 海月ね
- 2 / 良夫いなくなつた震災の夜にね、白いふわつとした物が見えた気がしたんだ  
1 / 白いふわつとした物
- 2 / 海月みたいな
- 1 / やめてよ  
(間)
- 1 / これ・・水クラゲ  
2 / 水クラゲか
- 1 / おつきいね  
2 / 縦になつたり横になつたり・・開いて閉じて・・なに考えてんだろね
- 1 / 海月？  
2 / そう
- 1 / 何も考へてないんじやない  
2 / そう言つちやおしまいでしょ
- 1 / 今日はどんなエサのプランクトンいっぱい食べられるかな  
2 / つて何ですぐ食べ物を持つていくの

1／ずっと食事には気使つてたからね現役時代は

2／さすがアスリートね

1／でも現役引退した途端20キロ太つて

2／20キロ太つたの？見えない

1／戻つたつて・・さすがにやばいと思つてトレーニングはじめたの

今でも毎日腕立て百回

(腕建て始める)

2／ちよつとなにやつてんの

1／見れば分かるでしょ・・腕立て

2／人前で

1／誰もいないでしょ・・あんたもやつて

2／いいよ

1／いいからやる

(2～3回でやめる)

1／体力ないな・・次、ヒンズースクワット（ヒンズースクワット始める）

2／やめてつて

1／あー汗かいた

2／あれつ、なに話してたんだつけ

1／だから海月がなに考えてんだかつて

2／そうだ、そうだ

1／・・目の前に女が一人

2／一人は体力あるな

1／どつちが綺麗かな

2／どつちもどつち

(間)

2／海月つて、横から見ると花火に見えない？

1／見えるね

2／良夫も海の中でこんな花火見てるといいな

1／・・・いいね

4 P

2／人生が夏の花火だったらいのにね・・ぱつと咲いてぱつと散つて  
1／なに言つてるの フランスではね40過ぎてから本当の大人の恋が  
出来るんだって

2／頑張らなくちゃやね

1／頑張らなくちゃやね

2／まだまだこれから

1／これから、これから

2／何か自信湧いてきた

1／でしょう

(間)

1／これから行こうよ花火大会

2／今日は港祭りか

1／行こうよ

2／だから人ごみ嫌いなんだつて

1／高校の屋上から見ようよ、よく見たでしょ、あそこなら人いないし

2／叱られるつて

1／大丈夫、私、名譽町民だから

2／関係ないとと思うけど

1／この間、講演会頼まれたのね、後輩たちに体育館でオリンピックの話してくれつて

その時グランドに行つて、ほらグランドのゲートの隙間ちゃんと  
チェックしてきたんだ

2／何処チェックしてんの

1／懐かしいなつて、だから忍び込めるよ 非常階段昇つて

2／屋上に・・行くか・・捕まつても何か盗む訳じやないし、それに

1／名譽町民だから

(二人笑う)

2／いくか

1／行こうか

音楽 Q U E S e r a S e r a

終幕

## 第二章「前夜」

櫻田 早雪 さくらだ サユキ サーちゃん

浜田 博幸 はまだ ひろゆき ヒロ兄

行方不明の姉 櫻田 夏美 さくらだ なつみ

東日本大震災から7年目 宮城県の港町

浜田博幸の部屋 23時過ぎ テーブルの上に写真立て3つと、テディベアひとつ  
写真立てには父親の絵と 母親の絵 夏美の写真が入っている  
写真立てに造花を付けている

1P

電話鳴る

博幸／もしもし、サーちゃん・・えつ？寝てないよ、まだ。どうしたの？

今から・・今からって？ もう来てる・・玄関？

もー・牛じやないって・・・もー、もー、もー、ちょっと待って・・

(写真立てを籠にかたづける ドアを開ける)

博幸／普通さ、来る前に電話しない？

早雪／電話したでしょ、・・・おばんですって、でも、おばんじやないよ(笑う)

博幸／花嫁さんがどうしたんですか？こんな時間に

早雪／買い物のついでにね、ちよつと

博幸／買い物？

早雪／ 打ち合わせの時、美容師さんに言われたんだよ、結婚式の前夜は化粧水のパックして・・十分睡眠取つて下さいって

博幸／ 夜更かししてるし・・だから、式場のホテルとったんでしょう

早雪／ 仮設住宅から式場向かうのは嫌だからね、ヒロ兄も泊まればよかつたのに

博幸／ 明日は、お袋達、迎えに行かなきやならないからさ

早雪／ バチエーラ。パーティーやつてたんじやないんだ

博幸／ バチエーラ。パーティー？

早雪／ ほら独身最後の夜に、新郎がね、はめ外して悪友どもと、カジノ行つたり

ストリッパーよんだり

博幸／ 欧米か！

早雪／ 化粧水のパックが切れてたからコンビニでね

博幸／ 売つてんのか？

早雪／ うん

(間)

博幸／ お茶どう？

早雪／ 眠れなくなるからなー

博幸／ ローズヒップにハイビスカス。ビタミンCたっぷりのハーブティー

(気取つて) お嬢様、お肌にもいいんですよ(お茶を入れる)

早雪／ 誰？(笑う)花婿さんこそ、何やつてたんですか？

博幸／ 色々・・準備だよ

早雪／ 準備つて・・ヒロ兄、サプライズはやめてよね

博幸／ サプライズつて？

早雪／ ウエディングケーキの中に隠れるとか

博幸／ ドリフカ！

早雪／ これ以上驚くのは、やなんだよね

博幸／ そんなんじやないよ

早雪／ 昨日ね、変な夢見たんだ、

博幸／ 変な夢？

早雪／ 結婚式が始まっているのに、新郎がいないんだよ、でなんか成り行きで一人でウエディングケーキをカットする事になるの

博幸／ どんな成り行きだよ

早雪／ で、カットするとケーキの中から新郎が

博幸／ (元気に)お待たせ？

早雪／ (笑う)そうそう、でもね、気が付くと何故か、花嫁が一人いるの

博幸／ 二人？

早雪／ びっくりしたんだけど、あつちもびっくりしてた

博幸／ だろうな

早雪／ 二人ともベールをかぶつて、同時にベールを上げるとあつちは

博幸／ あつちは

早雪／ 私、あつちも私なの、鏡に映ったみたいに

・・あれ、お姉ちゃんだったのかな

(お茶のカップを渡して)

博幸／ ・・・ドッペルゲンガージやない?って言うか・・ただの夢だよ

早雪／ (紅い色のお茶見て)綺麗 (飲んで) すっぱ

博幸／（自分も飲んで）山形のおじさん達は？

早雪／もう寝てるよ。・・・夕方ね、ホテルで食事会したんだ・・その時おじさんに・・

早雪・・夏美の・・お姉ちゃんの婚約者と結婚するからって

何も気にしなくていいって、俺達は応援するからって・・きつと

・・夏美も祝ってくれるって・祝ってくれるかな

博幸／・・・祝ってくれるよ

早雪／ねえ、ヒロ兄・・お姉ちゃん帰ってきたらどうする

博幸／何を(言つてる)・・

早雪／(笑う)真剣な顔、

博幸／サーちゃん・・不安なのか？

早雪／全然・・ごめん・・

博幸／もう・・帰つてこないよ・・帰つてこない（小さく）

（二人お茶を飲む）

早雪／ねえヒロ兄

博幸／なに？

早雪／このままサーちゃん、ヒロ兄つていいのかな、仮にも夫婦になるんでしょ

博幸／仮じゃないよ、明日・・ほんとの夫婦になるんだから

早雪／だよね、やっぱり、あなたとか呼ばなきやならんのかね、  
ねえ、あなた、あなたつてば・・あなたん

博幸／やめろつて・・まあ。明日考えよ

早雪／明日ね（飲んで）ごちそうさま

早雪／ じゃあ帰るわ・・明日は、ひとつよろしく

博幸／ 送つてくよ

早雪／ ありがとう（立つ）

博幸／ あのさ・・あの

早雪／ ん？

(間)

早雪／ あつ・・やつぱサプライズでしょ？ケーキに入るの？

博幸／ 料理だよ

早雪／ ・・わかった。皿の上に銀のドーム乗つてるでしょ？

それを取ると顔がジャーン（笑う）

博幸／ なわけないだろ、追加してもらつたんだよ料理

早雪／ ヘー・出席者増えたの

博幸／ まあ

早雪／ 何人？

博幸／ ・・4人分・・かな

早雪／ ヘー・・ヒロ兄の友達？

博幸／ いや・・（写真が入つた籠を出して、中から夏美の写真を撮り出す）

早雪／ お姉ちゃん？・・えつ？

博幸／ みんなにも、祝つてもらおうって思つてね

早雪／ それで追加したんだ？

博幸／ まあ・・陰膳みたいなもんだけね・・ちゃんと席を用意してやろうつ

て

早雪／（写真立ての絵を見て）これ・・もしかしてお父さん

博幸／わかる

早雪／だつてこのホクロ

博幸／写真なかつたからね

早雪／似顔絵、ヒロ兄が描いたの、うまいね・・じやあ  
・・こつちは母さん・・・ありがとう

こんなサプライズなら嬉しいよ・・似てるねお父さん

博幸／ほら家族会議で初めて会つた時、印象的でさ

早雪／額の真ん中のホクロでしょ？

ちつちやい頃のあだ名が「大仏」「仏像」あと「昌夫」

博幸／「昌夫」？

早雪／♪「白樺、青空、南風」（歌う）

博幸／千昌夫か！

（二人笑う）

博幸／でもこのホクロでお父さんつて分かつたんだからな、

早雪／そつか・・・一緒に見つかったのがお母さんで

博幸／夏美は、あの日、一緒じやなかつたのかな

早雪／一緒だつたと思うよ・・家族会議の予定だつたから

博幸／何処に行つたんだろうな

早雪／・・・沖縄だよ

博幸／沖縄つて？

早雪／ほら、震災から一年ぐらい経つてからかな、こっちの船が沖縄で  
見つかって言う話、憶えてる？

博幸／ああ、憶えてるよ

早雪／だからね、お姉ちゃんも、あっちの方に流されたんじやないかなって

博幸／・・・だつたら・・・温かくていいな

早雪／あんなに遠くまで流されるなら、どんなに探したって  
見つからないはずだよ。

それに、沖縄にはねニライカナイがあるから

博幸／ニラレバ炒め？

早雪／ニラしか会つとらん

博幸／沖縄の天国だろ、知つてるよ

早雪／沖縄の遙か東に、ニライカナイっていう天国があつて

そこは、生きていては、たどり着けない場所。

お姉ちゃんはずつと流されてニライカナイにいるんだよ

そう信じてるんだ。

博幸／一人で踊つてるかな

早雪／ダンス？

博幸／ああ

早雪／きつとね

博幸／きつとな

(間)

早雪／（父の絵を見て）この絵、本当の仏様みたい・・母さんは、観音様かな

(間)

早雪／ ごめんね

博幸／ え？

早雪／ 遺体安置所の入り口で足がすくんじやつてさ、どうしても入れなくて  
ヒロ兄が、父さんと母さん、見つけてくれてさ

本当は私が見つけてやらなくちゃいけなかつたのにね  
たつた一人残つた、家族なのにね、

博幸／ 一人じやないよ、俺だつて家族だと思つてたし

明日は・・本当の家族になるんだから

早雪／ ごめんね、弱わっちくて

博幸／ 弱くなんかないよ、お父さんお母さんの葬式の時だつて  
サーちゃん、一回も泣かなかつたでしょ

早雪／ 私がしつかりしなきや・・喪主だし、それに、お姉ちゃんいつも言つてた  
じやん「人間は、悲しいから泣くのではなく、

博幸／ 泣くから悲しんだ」・・ジエームズ＝ランゲ説ね

「楽しいから笑うんじやなくて、

早雪／ 笑うと楽しくなる・」

博幸／ いつも言つてたな

早雪／ これ以上、悲しくなりたくないからね・・・無理しても、笑わなきや

(間)

博幸／ 本当、家族会議つてびっくりしたよ

早雪／ ヒロ兄の家ではやんない？

博幸／普通やんないよ

早雪／（父のまね）えー、これから桜田家家族会議を始めます。

このたび浜田博幸くんと夏美が結婚することになりました。

新しい家族が増えます。みんなで祝ってくださいって

よく覚えてるね

早雪／書記だからね、お父さんが議長で、母さんが副議長、

（父のまね）それでは初めに博幸さんから、ひとつ言ひ挨拶を

（博幸のまね）ただいま、ご紹介にあづかりました浜田博幸です  
夏美・・さんとは、大学のダンスサークルで知りあいました  
やがて、ダンスのパートナーになりました

これからは、人生のパートナーとして一人で頑張ります（笑う）

博幸／笑うなつて・・一週間考えたんだから

早雪／一週間考えてあれ？ダンスのパートナーから人生のパートナー（笑う）

カツコつけ過ぎ・・・（笑う）

博幸／笑うなつて・

早雪／1回だけ応援に行つた事あるよ、ダンスのコンテスト

でも、もつとゆっくりなのかつて思つてた

博幸／俺達はラテンダンスだからね

早雪／本当に、息ぴつたりのパートナーだつたな・・・ごめん

博幸／何で謝るの？

早雪／だつて・・・ごめんね

(間)

早雪／憶えてる？最後に、父さんが「博幸さんに、1つだけお願ひがあります」

博幸／娘を奪つていく君を殴らせてくれ

早雪／さだまさしか！・・・私は古い人間だから、お願ひだから結婚式までは子供を作ってくれるなって。

今時は子連れでバージンロード歩く人も珍しくないのにね、

司会の人が間違つたりして「皆様拍手でお迎え下さい、

新郎妊婦の登場です」つて（笑う）

（間）

早雪／あの震災の日も、家族会議があるつていうんで、私はほら、大学、授業終わつてから、福島から、こつち向かつてて、丁度、仙台で地震にあつて、こつちに着いたのは

2日後だつたな・・・ヒロ兄も参加する予定だつた？

博幸／まあ

早雪／何の会議だつたんだろね、知つてた？

博幸／・・・さあ

3P

早雪／じやあ帰るね、明日は、よろしくお願ひします

博幸／こちらこそ・・・送つてくれよ

早雪／ありがとう

博幸／ちょっと待つて、車の鍵とつてくるから

早雪／あれ、ねえねえ、さつき4人分つて言つたよね、食事

お姉ちゃんと父さん母さんあと一人は

(間) 博幸テディベアを持つて)

博幸／あの日・・震災の前夜・・夏美がこの部屋へ来てね

早雪／うん

博幸／・もう結婚できないかもしないって

早雪／どうしたの

博幸／いや・・・子供ができたみたいだつて

早雪／・・・

博幸／調べてもらつたつて、とりあえずお父さんに謝りに行こうつて

早雪／お父さん怒つた？

博幸／最初は戸惑つてたけど、最後は、まあ、新しい家族がもう一人  
増えるだけだからつて

早雪／新しい家族

博幸／おめでとうつて言つてくれたよ・・明日、早雪を呼んで

また、家族会議開いて・・皆で、お祝いしようつて

(間)

早雪／いいのかな、本当にいいのかな・・・どうしよう・・私・・どうしよう・・

本当は・・・すごく不安だつたんだ

なんで私の・・私でいいの・・私は・・(顔を伏せる)

(間)

博幸／(父の絵を顔の前に持つてきて)

えー、これから桜田家の家族会議を行います。

このたび浜田博幸くんと・・・早雪が結婚することになりました。

それでは初めに博幸さんから、ひと言ご挨拶を（父の絵を外して）ご紹介に預かりました浜田博幸です。

遺体安置所で家族を探すという事は・・何百人の

・・仏様と向き合うという事です・・突然、人生を奪われた人達  
・・どんな夢があつたんだろう・・・どんな思いが残つたんだろう  
代わりに、僕がここに安置されていても、何の不思議もない、だから  
僕は・・・残された命なら・・・思うがままに生きて行こうって  
一人遺されて、必死に生きている早雪と・・・家族になろうって  
(父の絵を顔の前に持つてきて)

明日・・・新しい家族が増えます。みんなで祝つてください

早雪、おめでとさん

(母の絵を顔の前に持つてきて) おめでとう、さゆちゃん

(姉の写真を胸の前に持つてきて) さゆ、おめでと

(テディベアを手に持つて) おめでとう・・・おばちゃん

(早雪 涙が止まらない)

博幸／いいんだぞ、泣いたって・・いいんだよ・・無理に笑わなくたって

(間 ハーブティを入れる)

博幸／ サーちゃん

(振り返ると 顔に化粧水の白いパックをしている)

(姉の写真を顔の前に持つてきて) びっくりせんなんよ もー

早雪／牛?

博幸／ もー、もー、もー

早雪／ 泣き顔、見せたくないじやん

博幸／ 似合うね・・・そんなに美白だつた

(ふたり少し笑う)

(間 ハーブティーを飲む)

早雪／ ねえ、やってみようかサプライズ

博幸／ サプライズ

早雪／ ほらケーキから出るやつ、下見の時、ケーキ見たでしょ?

・・7段重ねで、2メートル以上あつたでしょ?

あれハリボテだよね、中に入れるよね

博幸／ 面白そだな

早雪／ ほら、ケーキの上に人形乗つてたでしょ?

あれとおんなじポーズでケーキの中から登場つて、どうよ

博幸／ どんなポーズだつけ

早雪／ 新郎新婦が腕組んでるやつ、ほらやつて見て

(二人腕を組む ふと組んだ腕の腕時計を見て)

博幸／ サーちゃん

早雪／ 何?ヒロ兄

博幸／ ほら・・・明日が・・・今日になつたよ

早雪／ よろしくお願ひします

博幸／ こちらこそ

早雪／ ねえ、あなた

博幸／やめろつて

早雪／ヒロ兄

博幸／なんですか？・・あなた

早雪／やめてつて・・ねえ、私もやつてみようかな

博幸／ん？

早雪／ダンス・・教えてよ

博幸／まあ・・いいけど・・じやあ・・こうやつて

(二人向き合つて、ダンスの姿勢) スロー、スロー、クイック、クイック、

(ゆっくり踊り出す)

終幕

### 第三章 「三ライカナイの風」

#### 男 タクシーの運転手

震災で妻を亡くし潜水夫の資格を取つて妻を探している

港町の小さな船着き場

東日本大震災から3年目の港祭りの夜

遠くから祭りばやしが聞こえる

堤防に腰かけ 流し灯籠に南国の花の絵を描いている男

静かに灯籠に話しかける

1P

聞こえつか？祭りばやしが。

今日はな・・三年ぶりに港祭りが、復活したんだぞ

花火もな、天国から見えるようについて、いつもより派手に打ち上げんだけど

灯籠流しもあるんだ・・ほれ、昔はな、ただ、ただ、ご先祖さんに向けて流してた  
げどな

今日はな・・あの日・・いねぐなった人達に向けて、想いを込めて流すべつて事になつてな

んだがら、こうやつて自分で絵、書いて、話しかげでんだよ

ほれ・・昔・・なんだつけ・・あの映画・・二人で見だべ・・あの・・亡くなつた  
奥さんに向けて瓶の中に手紙を入れて海に流すやつ・・ほれ・・ケビン・コスナー  
が出でだ・・

んだ・・「メッセージ・イン・ア・ボトル」(Message in a Bottle) だ  
そうすうと、さしづめ俺はケビン・コスナーがつてなにカツコつけでんのがつて笑  
うぐな

これは「メッセージ・イン・ア・灯籠」だつちやな（少し笑う）

（灯籠に）

おーい元気が？・・いねぐなつた人に元気がつておがしいな・・んでも・・元気が？  
お前が帰つてきたらな、色々話てえ事、いつべあつたのに・・いぞ話せつとなつと  
なに話せばいんだべな

んだ、サスケ帰つてきた・・つて何で一等最初に猫の事、話すんだがな  
お前心配してだがらな・・震災の前の日にいねぐなつてな、

やつぱ動物の勘つてやつで、津波来るの分かつたのがな

波が引いてな、一週間ぐれして、泥だらげで、ひよつゝり帰つてきた

黒猫だがら忍者みだいでサスケつて名前つけだんだけど・・あれでは灰猫だな

・・お前も・・ひよつゝり、帰つて来つといのにな

あのな、おまえ、みつかんねがらな・・まだ、葬式あげでねんだ・・  
だから・・位牌もねんだよ

位牌つて言えばな・・昔、婆ちゃんがな、亡くなつた爺ちゃんの位牌に向かつて  
お茶つゝ2人分用意してな、何十分も話しかけでだな・・

ある時や、あんまり長いんで、見てみだら座布団に正座して、ねむかげしてだ  
夢の中であつてだのがな

亡くなつた人もな、思えば、そこに感じる事でぎんのがな

2P

俺はな・・とりあえず元気だつちや

仕事もあいかわらずタクシーの運ちゃん、やつてんだ

ほれ、向こうの海岸で祭りやつてんだけど、灯籠もな、何千個も流すつて言うんで俺の灯籠な、他のど紛れつと困つから、この船着き場で一人で流す事にしたんだこの船着き場はな・・いつつもお前を探しに船を出す所なのさ

俺な・・お前を探してんだ・・潜水夫の資格とつてな・・休みのたんびに潜つてんだよ

震災の直後はな、警察とか自衛隊とか海上保安庁とかボランティアの人まで皆して、行方不明の人探してくれてな

んでも時間がたつにつれで、段々と探すのも減つていつてな・・  
まだ、千人以上見つかんねのにな

んだがら・・いても立つてもいらんなんがなつて、自分で探すべつてな・・

ただ、じつと待つてんのと、自分で探すのでは大違いだがらな

それに、探し続けるうちはな、まだお前と繋がつてるような気がしてな

不思議なもんだな、いなくなつてからの方が、お前のことを、もつと思つようになつてな

お前が話した言葉どが、好きだつた本どが・・一緒に見た映画、色々な想い出の

品物どが

なあ、お前が好きだつた寺山修司さんの「涙は人間が作った1番小さな海です」つていうの

憶えでるぞ、何でも、これは、世界で一番短い叙情詩なんだつて  
あの日がら、海も溢れる程の、涙が流れだんねえがな

あの日はな・・家はなんとが流されなかつたげど

一階の真ん中ぐらいまで波が来てな・・電化製品全滅だつた  
悔しいな、買つたばかりの五十インチのテレビ駄目になつてな、ほれ、お前と一人  
で、好きな映画いつぺ見つぺど買つたのにな・・んでも、一緒に見る人いねえの  
が一番悔しいな

町はな、十年以上かがるつて言つてだ瓦礫もな・・一年でなぐなつたげど

んでも三年で無くなるつて言つてだ、仮設住宅は、まだ、いっぱい人住んでんだ  
休みの度に探してんだげど・・中々見つかんねえな・・色々 鞄とか遺品見つけ  
て、お礼言われだりとがはしてんのさ

3P

ほれ、浜育ちだからな、泳ぎは得意だつたけど潜るのはな・・・新婚旅行以来がな  
憶えでつか?シユノーケルをつけて潜ったよな、沖縄の海はほんと綺麗だつたな

あ

魚もサンゴもな、地上の花々が映つたように色と光に満ちていだな

天国つてああゆう所かもな

(灯籠を高く揚げて)

分かるがな、これ沖縄の花だぞ、ハイビスカスと・・ブーゲンビリアだ

ごめんな、また沖縄、連れでいぐつて言つたのに、忙しくて約束守れなくて  
停年になつたらまた行くべつてな、貯金はしてだんだげどな

4P

んだ、震災から一年ぐらいしてな、沖縄の海でこっちがら流されだ船が見つかつた  
んだよ

お前もな、もしかして・・沖縄まで流されでんのがな、だつたら、こっちより、あ  
つたかくていいべな

旅行ガイドさんから聞いたよな

ほれ、沖縄にはな、ニライカナイって言う天国があるつて話、憶えでるが？

遥か遠い東の海の彼方にあつてな、そんでニライカナイに行つたな魂はな、遺された  
親族の守護神になつてくれるんだつてな・・お前も見守つてくれんのがな、  
天国、パラダイス パラデイソ エデン 極楽 樂園 あの世 黄泉の国 常世つて  
色々呼び名があるけどな

俺は元々、天国だの靈魂だの信じなえ人間だつたんだ

でも・・震災から暫くしてな、やつと燃料が入つて

避難所やら、買い出しなんかでお客さん乗せて忙しがつたんだ  
ある夜な、赤ん坊抱いた、若いお母さん乗せたんだよ

浜の方の住所言うがら、そこは津波で何も無くなつた所だつたんだげど  
行つて降ろしたらな、海の方に歩いて行つたんで

気になつて追いかけでな、お客さん、どうしたんですかって言つたら

「運転手さん・・私、死んだんですか?」 つて言つんだよ

お客さんなにかだつてんのつて言つたら

目の前でな・・スッと海の方に消えていった・・あれは・・仏さんだつたんだな  
それから、海から山の方に走つて行く大勢の人影も見だな

そんで、また、仏さん乗せたらな、お前の事、尋ねてみるとと思つてたけど

四十九日過ぎたがらかな、パツタリ会わねぐなつたな

5P

ほれ、お前が勧めでだ信用組合の三階の屋上な・・お前は、そこで海眺めながらな  
潮風に吹かれで昼飯食うの好きだつて言つてだよな・・まさがな・・あそびまで波  
来るどはな

・・どんなに寒かつたべ、どんなに恐ろしがつたべな

俺が、もつと早く助けに行つてればな。

あの日はな、お客さん乗せで、登米の石森章太郎のふるさと記念館まで行つてだん  
だよ

お客さん下ろしたら・・地震が来てな、早く戻るべど思つたんだげど、道は波でやられで、

橋もな所々道からせり上がつていでな・・マンホールなんかは、キノコのようすに盛り上がつてだんだ。

やつと山道抜けで・・町が見える所さ来たらな

真つ黒い波がやつてきて、町が灰色の泥におおわれだ

そこにな、恐ろしい位、真白い雪が降つてきてさ・・・白黒の世界

地獄つていうのはあんな色のない世界かもしけないな

なんかな、あの日から色を色として感じることができなくなつたような気がすんだいや、タクシーの運転手だから、もちろん信号は赤は止まれ、青は進めわかつてるんだけどもな

6P

今日、港祭りでな・・何十隻の船が、あの日、流されてしまつた船の分も一緒にな色とりどりの大漁旗を、太陽の光の中で、風になびかせででな

中には、あの日、いねぐなつてしまつた子供達の為にな、でつかい鯉のぼりも・・

緋鯉に真鯉

空を泳いで、港をめぐつていたんだ

それ見てだらな・・・あ一世の中には、こんなにも、色が溢れているんだなつて、改めて感じだんだ

そこで、今日も午後からな、お前を探しにまた海に潜つたらな

深緑の海藻とか、レンガ色の中には、オレンジ色が輝くホヤの群生などが、銀色にかがやく魚の群れどが・・感じる事が出来たんだ

そんでな、あらためで・・海も、空も青がつただんなつて思つてさ

これ憶えてつか？（貝殻出して）新婚旅行時のお土産  
(耳に当てる)お前、こうやつて耳に当てるとき沖縄の風の音が聞こえてくるつて言つてたな

この貝殻を灯籠に入れつでやから、水先案内になつてくれつといいな  
(灯籠にいれる)風の音を頼りに進んでいけな

うまく描けだがな・・俺、字は下手だげど・・絵はまあまあがな

(数発の花火が打ち上がる　それを眺めて)

やー・・始まつたな

この灯籠の灯りは、あんな花火みたく派手な光ではないけど  
俺の思いがこもつた灯りだから、きつと・・見つけてけろな

(花火が連発で打ち上げる 鮮やかな大きな光と音の中)

おーい風、運んでくれな・・俺は・・

(花火の音に言葉がかき消される　ゆっくりと海に向かつて歩き出す)

エピローグ

灯籠を抱えた 女1、女2 博幸 早幸 現れ花火見上げる

終幕